

2017年(平成29年)4月1日発行(年4回1・4・7・10月の1日発行)
第32巻第2号 通巻171号

2017・4

A Magazine for The Cosmetics,
Toiletries and Household Industries

Beauty Science®
ビューティ サイエンス



L'ARTISAN PARFUMEUR

特集 百貨店

上昇志向の波に乗り、さらなる飛躍へ

FOCUS 企業のR&D戦略

産学連携やグローバルな視点が開発技術を昇華

TREND

着実な成長を遂げる敏感肌化粧品市場

追跡

アンチポリューション化粧品、紫外線との同時訴求でティリーケアへ

春

特集 百貨店伊勢丹新宿本店、小田急百貨店新宿店、京王百貨店新宿店、三越銀座店、
松屋銀座、そごう横浜店、名鉄百貨店本店、阪急うめだ本店、大丸梅田店

16

上昇志向の波に乗り、さらなる飛躍へ

- ・店頭レポート・売上げ&伸び率ベスト10
- ・百貨店&ブランドメッセージ・フォトレポート



FOCUS

企業の R&D 戦略ポーラ化成工業、アルビオン、ファンケル、
ヒノキ新薬、バスクリン

10

新たなイノベーションの鍵を握る R & D

TREND

アンチポリューションコスメフランス、ファンケル化粧品、ラロッシュポゼ、
CVLコスメティックス・ジャパン、林幸千代美容研究所

32

「大気環境ストレス」に着目したコスメが台頭

消費者視点の「買われ方・選ばれ方」

株式会社ネオマーケティング

38

第1回 カウンセリング型売り場とセルフ型売り場の比較

BEAUTY SCIENCE

美白&サンケア原料岩瀬コスファ、日光ケミカルズ、一丸ファルコス、山川貿易、ジェヌインR&D、ウイルバー・エリス、
コベストロジャパン、東洋発酵、堺化学工業、片倉コーポアグリ、セティ、クローダジャパン

41

**負けられない檜舞台で有力素材新たに
原料各社とも C I T E Japan に照準**

追跡

敏感肌化粧品の最新動向花王、第一三共ヘルスケア、
ディセンシア、コーセー

62

着実な成長を遂げる敏感肌化粧品市場

〈表紙〉ブルーベル・ジャパン 2017年春新製品発表会

2016年12月5日に開催されたブルーベル・ジャパンの2017年春の新作発表会の1コマ。アーティスティックなフランスのフレグランスマゾン「ラルチザンパフューム」がデザインを一新し、今春にリニューアルを果たした。ブランド創立40周年にあたる今年、ブランドのルーツに立ち返り、確固たる伝統と自然への愛を表現した新たな装いに生まれ変わった。スマーキーなブラックのガラスボトルはミステリアスな雰囲気を漂わせ、ブランドの紋章が刻印されている。7角形の重厚感あふれるボトルキャップはそのままに、モダンさがブランドの歴史と未来を表現している。その香りは職人的技術と自然の美しさが見事に融合され、マスター・パフューマーによる香料のハーモニーや構造、肌の上の変化を絶妙に計算したクリエイションで訪れる人を香りの探索へと誘う。

林幸千代美容研究所

ムスリムも安心して使える オールインワンジェルで世界市場開拓へ

「PPスキンバリアゲル」シリーズ

日本骨氣協会を立ち上げ骨氣（コルギ）療法の普及・啓発活動に取り組んできた林幸千代美容研究所は2016年4月、PM2.5などの大気汚染物質抑制をコンセプトとするオールインワンゲル「PPスキンバリアゲル」を発売して化粧品業界へ参入した。今年2月にはシリーズアイテムとして「ムスリムフレンドリー」をコンセプトにPPスキンバリアゲル「PPスキンバリアゲル ナチュラル」(50g 2000円)を開発し、グローバル展開を進めている。

基幹事業である日本骨氣協会事業では、自前の骨氣サロンを今年1月末に閉め、フランチャイズ展開に一本化し、「PPスキンバリアゲル」シリーズを軸にした化粧品事業に全力投球する。

なぜ骨氣療法から突然、大気汚染対策スキンケアなのか。その問に、林幸千代社長は「骨氣のスクール講師として中国を訪れた際、宿泊したホテルの窓から見た大気汚染に満たされた景色に愕然とした」と振り返る。「(社名)『美容研究所』として、今取り組まねばならない問題ではないか」

帰国してすぐに大気汚染に関する情報を収集した。中国で深刻な問題となっているPM2.5以外にも汚染物質は多数存在し、すでに世界共通の社会問題として複数の国際研究機関が環境大気汚染の健康被害について報告していた。

商品開発では、肌に付着した汚染物質を取り除く対策も考えたが、「汚染物質の全成分はどこも同じ

であるはずもなく、大気中の成分を全て調べるのは専門家でも難しいことがわかった」(林氏)ことから、汚染物質から肌を護る製品を構想したという。

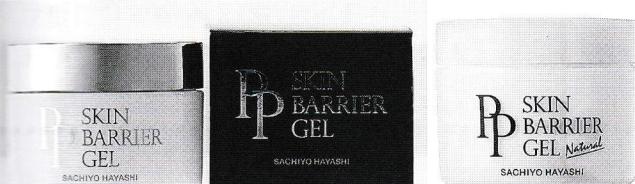
大気汚染対策は日常的なケアが必要となるため、1つで手軽に対策ができるオールインワンタイプのジェル剤型を採用し、汚染物質抑制・日やけ止め・美白機能を付与した1品8役の「PPスキンバリアゲル」(50g 8000円)を完成させた。

シリーズの主成分に位置づける「シルバーバイン抽出液」(マタタビ果実エキス)には、大気汚染などによる角層タンパク質のカルボニル化(くすみ)を抑制する作用に加え、カルボニル化したタンパクの分解を促進する作用も確認されており、大気汚染による肌老化を抑制する効果が期待できる。

そのほかPM2.5など環境ストレスによる肌老化予防、抗炎症、抗酸化、肌バリア機能回復、光加齢防止などの作用が認められている植物由来エキスを贅沢に配合している。

国内販売を開始して以降、インバウンドも獲得し、台湾や中国・免税店などにも販路を広げて順調にグローバル展開を進めてきたが、現行品の処方では世界人口の約1/4を占めるイスラム教徒への提案が難しいという壁にぶち当たった。「ムスリムが多いASEAN・中間層向けに提案していく商品としては、価格面も厳しかった」(林氏)

そこで開発したのが「PPスキンバリアゲル ナチュラル」だ。中間ムスリム層をコアターゲット層に、アルコールや豚由来の成分を含まない「ムスリムフレンドリー」の処方に仕上げ、価格も1/4に抑えた。大気汚染対策ケアにつながる植物系成分を同様に配合する、より経済的なPPスキンバリアゲルを軸に「大気汚染対策のためのスキンケアを啓発していく」とグローバル市場を開拓していく。C&T



「PPスキンバリアゲル」(左)とムスリムフレンドリー「ナチュラル」